

専門工事業者安全管理活動等促進事業

造園工事業者のための 危険性・有害性等の調査 標準モデル

【作業手順書による】


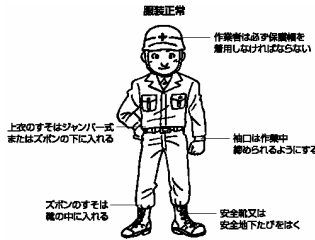

No.1




建設業労働災害防止協会




草刈り作業手順書及び危険性・有害性等の調査（造園工事業）




作業名	手刈りによる草刈り作業	保護具	保護帽、安全靴、防護面付ヘルメット、革手袋、ゴーグル
使用機械	なし	免許・資格	なし
使用工具	鎌(小鎌、ノコギリ鎌、草刈り鎌)、熊手、レーキ、竹ボーキ	作業人員	1名以上
使用材料	荒縄、袋、PPコード、ビニール袋	その他	



作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすく)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)
準	1. 作業前の打ち合わせをする	① 関係者全員で ② 健康状態をチェックして ③ 作業分担、方法、手順を確認して	・寝不足等による体調不良により熱中症で倒れる	×	○	×○	3	・安全ミーティングで健康チェックし、作業中はこまめに水分を補給できるよう水筒などを用意しておく	職長	
備	2. 服装・保護具を点検する	① 長袖、長ズボン ② 保護帽、防護メガネ ③ 安全靴(安全地下足袋)、手袋を	・半袖で作業し、草、トゲ等が腕に刺さりケガをする	×	○	×○	3	・服装は長袖、長ズボンとし、作業中は革手袋等保護具を使用する	職長	
業	3. 現場の状況を点検する	① 草の種類、草丈を ② 作業場所の地形を ③ 乾燥地・湿地を	・半袖で作業し、草、トゲ等が腕に刺さりケガをする	×	○	×○	3	・服装は長袖、長ズボンとし、作業中は革手袋等保護具を使用する	職長	

作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすく)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)
準備作業	4. 作業方法を決定する	① 手刈りで ② ノコギリ鎌で ③ 根元で刈り取り	・鎌の選定を間違え、鎌を引くとき、 鎌が滑り足を切る	△	△	△△	3	・ノコギリ鎌を使用するときは、草と鎌をしつかり持ち、滑りに気を付ける 	作業者	・根元で刈るか、根も取るかによって、作業に使用する鎌を決める
	5. 鎌を研ぐ	① 適切な砥石を使い ② 熟練工が ③ 軽く押さえて	・鎌の持ち方が悪くて、鎌が滑り手をケガする	○	○	○○	1	・研ぐ時は鎌の刃の背部分を軽く押さえ、鎌の持ち方に注意して研ぐ	作業者	

作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすく)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)
本 作 業	1. ハチの巣やマムシ等を払う	① 竹ボーキ等で草を払う (草丈が高い場合) ② 防護面付ヘルメットを使用し	・保護具の未使用でハチに刺されたり、マムシ等に咬まれたりする	△	△	△△	3	・保護具を使用し、竹ボーキ等で追い払ってから作業を行う	作業者	
	2. 刈取りの位置につく	① 二人以上で間隔を取り ② 刈取り方向を決め	・刃物を持っているので、近くにいる同僚作業員を傷つける ・他の作業員との間隔が狭く、刈草が相手の目に入る	○	△	○△	2	・作業員同士の位置を確認し、刈草の丈の倍の間隔を取りながら作業を行う	職 長	
	3. 刈り始める	① 根本から《一握りか二握り位》を持ち ② 鎌は手前に引き ③ ゴーグルをかけ	・保護具の未使用で刈草の草汁が飛び、目に入る	×	○	×○	3	・鎌による刈草作業はゴーグルをかけ、根本から刈り取る	作業者	

作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすく)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)
本 作 業	4. 危険物を除去する (ガラス、クギ等)	① ガラス破片やクギ等を ② 一定の場所に分別して	・草を掴んだ時、ガラス等の危険物に 手が触れケガをする	△	○	△○	2	・刈草作業中、ガラス破片やクギ等があった 場合は作業を中止し一定の場所に分別後、 作業を開始する	作業者	
	5. 刈草は数カ所に集積する	① トゲのあるものと分別し ② 小分けに ③ 革手袋を使用し	・軍手を使用しトゲのある草を掴み、 トゲが刺さる	△	○	△○	2	・トゲのある草等は、革手袋等を必ず着用し、 ビニール袋に詰め分別集積する	作業者	
	6. 刈草は結束し袋詰めする	① 長い物は2カ所で ② 荒縄で ③ ビニール袋に	・仮置きした刈草が突風等により飛散 する	△	○	△○	2	・刈草は一定の量を荒縄で結束し、ビニール 袋に入れ仮置きする なお、長い物は2カ所結束する	作業者	

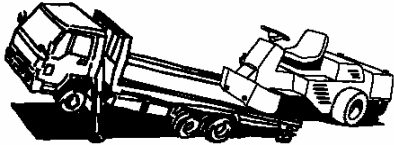
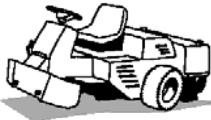

作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすく)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)
本 作	7. (1)バックカー車に積み込む (2)直接トラックに積み込む	① 積み込み手順で ① 積載場所迄運搬し、荷台先方から順次 ② あおりの高さまで ③ シート掛けをして	・バックカー車に積み込み中、押し込もうとして、巻き込まれる ・運搬中、段差、凹凸に足を取られ転倒する	○	×	○×	3	・バックカー車への積み込みは手順を守り作業する ※運搬は運転手側で行う 	作業者	
	8. 熊手等によくかき上げ、きれいに掃除する	① 危険物をよく見て							作業者	
業	9. 発生材をすべて搬出し、点検する	① 鎌の数量を ② 熊手を ③ レーキ等を	・忘れた鎌等を、子供がいたずらしてケガをする	△	△	△△	3	・作業終了時は、使用工具等の数量を点検し、車両に積み込む	職 長 作業者	

作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすく)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)										
後 始 末 作 業	1. 道具を片付けて終了する	① 再度点検し	・刃物等で第三者がケガをしたり、また、持ち去ったりもする 	×	△	×△	4	・鎌の柄には、目立つテープを巻く等、目印を付けておく	作業者	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">4</td> <td>整理</td> <td>要るものと、要らないものを分ける。 要らないものは早く片付ける。</td> </tr> <tr> <td>整頓</td> <td>要るものは、定められた場所に、使いやすく、正しく置き、安全に積み込む。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">S</td> <td>清掃</td> <td>残材料を元に戻す。道路や作業床が乱雑にならないよう、きれいに清掃して気持ちよく仕事ができるようにする。</td> </tr> <tr> <td>清潔</td> <td>くず物、スクラップ、油ボロなどの汚れたものを所定の場所に片付ける。</td> </tr> </table>	4	整理	要るものと、要らないものを分ける。 要らないものは早く片付ける。	整頓	要るものは、定められた場所に、使いやすく、正しく置き、安全に積み込む。	S	清掃	残材料を元に戻す。道路や作業床が乱雑にならないよう、きれいに清掃して気持ちよく仕事ができるようにする。	清潔	くず物、スクラップ、油ボロなどの汚れたものを所定の場所に片付ける。
	4	整理	要るものと、要らないものを分ける。 要らないものは早く片付ける。																	
整頓		要るものは、定められた場所に、使いやすく、正しく置き、安全に積み込む。																		
S	清掃	残材料を元に戻す。道路や作業床が乱雑にならないよう、きれいに清掃して気持ちよく仕事ができるようにする。																		
	清潔	くず物、スクラップ、油ボロなどの汚れたものを所定の場所に片付ける。																		
	2. 終了後、職長が確認	① 元請係員に						 <p>—以上で本日の作業を終了します</p> <p>ご苦労さま</p>	職長											


草刈り作業手順書及び危険性・有害性等の調査（造園工事業）

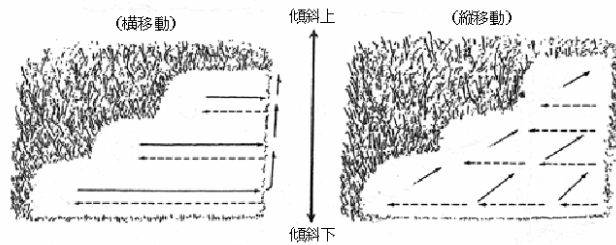
作業名	草刈り機(自走式、ハンドガイド式)による草刈り作業	保護具	保護帽、防護メガネ、安全靴、手袋
使用機械	草刈り機(自走式、ハンドガイド式)、ダンプトラック	免許・資格	なし
使用工具	ポール、ネット、箒、熊手、箕、脚立、はしご、道板、カラーコーン、ロープ、シート	作業人員	3人
使用材料	ベニヤ板	その他	

作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすさ)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)
準備作業	1. 作業前の打ち合わせをする	① 関係者全員で ② 健康状態をチェックして ③ 作業分担、方法、手順を	・寝不足等で体調不良により、熱中症で倒れる	×	○	×○	3	・健康状態をチェックし、作業中はこまめに水分を補給できるようにスポーツドリンクなどを用意しておく	職長	<p>職長は安全ミーティングで作業分担、手順等を再確認し、経験、技能を見て適正配置をする</p> 
	2. 作業前のKYミーティングを行う	① 全員で作業方法、手順を確認し ② 当日の作業箇所を点検し							職長	<p>安全帯、保護帽、服装の点検を行う。</p> 
	3. 服装・保護具を点検する	① 長袖、長ズボンを ② 保護帽、防護メガネを ③ 安全靴(安全地下足袋)、手袋を	・半袖で作業し、草、トゲ等が腕に刺さりケガをする	×	○	×○	3	・服装は長袖、長ズボンとし、作業中は革手袋等作業具を使用する	職長	

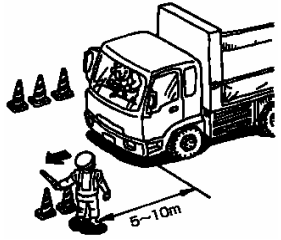
作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすく)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)
準備作業	4. 機械を降ろす	① 平坦な場所で ② 誘導員を配置し、人払いをして ③ 道板を使って、ゆっくりと	・機械を降ろし中、道板から外れ、機械が落下し、下敷きになる	○	×	○×	3	・機械を降ろすときは、平坦な場所で誘導員を配置し、周囲の人払いをし、道板を使用して、前進で降ろす	作業員	
	5. 機械の点検をする	① 刃の取付部分の締付けを ② オイル、燃料の状態を ③ クラッチ、ブレーキ等の作動を	・刃の点検中に手を滑らせて刃でケガをする	○	○	○○	1	・刃の取付部分の締付け作業には手袋を着用する	作業員	
	6. 作業範囲を点検する	① 一日の予定作業区域を ② 端から端まで歩いて ③ のり面は下から上部へ歩き	・のり面を下りながら点検中、足を滑らせて転落する	○	○	○○	1	・のり面を移動するときは、なるべく下から上へ歩き、点検する	職長 作業員	


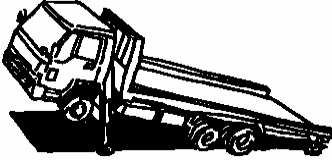


作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすく)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)
準備作業	7. 支障物を点検・除去する	① 石や空き缶などを ② バルブ、配管、ケーブルの位置を ③ 支障物にはボール等で目印をし	・既設の散水栓に気付かず、破損させてしまう 	△	○	△○	2	・石や空き缶などは作業開始前に除去し、 配管、ケーブル等の位置には、ボール等を 立て目印をする 	職長 作業員	
	8. 作業区域の確保と明示をする	① カラーコーン等で ② 立入禁止の標示を ③ 車両をベニヤ等で防護し	・草刈中、刃で石を飛ばし、第三者に 当たりケガをする ・飛び石が駐車中の車両等に当たり損 傷する	×	△	×△	4	・カラーコーン、安全柵、ロープ等で立入禁 止の措置をし、標示をする 4 ・ベニヤ板、飛散防止用ネット等を使用し、 飛石による事故を防止する	作業員	<p style="text-align: center;">立入禁止措置の確認</p>  <p style="text-align: center;">あぶないから 中に入っては いけません 立入禁止</p>

作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすく)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)
本 作 業	1. 機械の始動をする	① 周囲の状況を確認して ② 監視員を配置し							作業員	
	2. 草を刈る	① 打ち合わせた方向から ② 作業員は、防護メガネを着用し	<ul style="list-style-type: none"> ・のり面で、機械が滑落し、巻き込まれてケガをする ・刃で石を飛ばし、飛石が目等に当たってケガをする ・第三者が近づいてきて、飛石が当たりケガをする 	○ △ ○	× × ×	○× △× ○×	3 4 3	<ul style="list-style-type: none"> ・作業開始前に防護メガネを着用し、作業は打ち合せに基づいてのり面は下から上方向へ刈り取る ・作業箇所には第三者立入禁止措置を行う 	作業員	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣に住宅等がある場合はベニヤ板、飛散防止用ネット等を使用し、飛石による事故を防止する ・刈草、石の排出される方向を常に考えておく
	3. 機械を停止する	① エンジンを停止し ② 機械の停止を確かめて ③ 刃に布などが巻きつく等の異常時	<ul style="list-style-type: none"> ・巻き込んだ布などを除去するとき刃に手が触れケガをする 	○	○	○○	1	<ul style="list-style-type: none"> ・布等の除去作業は手袋を着用し、刃が完全に止まってから作業する 	作業員	<ul style="list-style-type: none"> ・別の作業員もすぐに機械を停止できるよう、機械の運転者と合図を決めておく




<笛による合図>
 安全＝短音2声、繰り返し
 停止＝長音
 <発声による合図>
 安全＝オーライ、オーライ
 停止＝ストップ

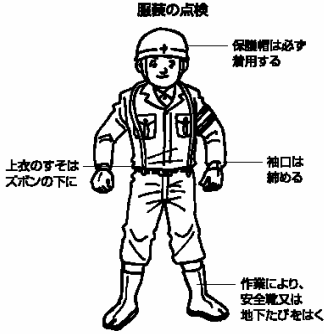

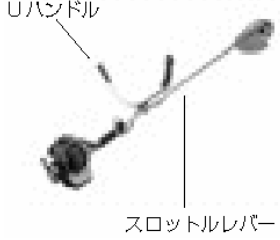
作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすさ)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)
本 作 業	4. 刈草を集める	① 熊手などを使って ② 箇所ごとにまとめて ③ 少量ずつ(約 kg)	・タバコの投げ捨てにより、刈草に引火して火災が発生する	○	○	○○	1	・刈草は熊手等ですみやかに集草する ・刈草の荷は20kg以内程度にロープ掛けをする	作業員	 <p>・交通誘導員は車の前に出ない ・運転者にわかる大きい動作で ・危険を感じたら、直ちに停止させる</p>
	5. 積み込み用の車を誘導する	① 誘導者の合図で ② 集草場所の近くに ③ 場内は徐行して	・車両がバックした時に、作業員、第三者が見えず、接触してケガをする	○	△	○△	2	・場内は、誘導員の合図で徐行する	作業員	
	6. 車に刈草を積み込む	① シートの上に草を集めて ② 少しずつ持ち上げて荷台の上に積み込む ③ 脚立、はしごを使用して	・荷台の積み込んだ草上から足を滑らせ転落する	○	△	○△	2	・ダンプの荷台に昇り降りするときは、脚立やはしごを使用する	作業員	
業	7. 刈草を運搬する	① シートを掛けて ② ロープで固定し ③ 安全運転で	・荷台上の刈草が飛散し、道路等を汚染する	○	○	○○	1	・荷台の後ろまで、シートを掛けロープでしっかりと固定する	作業員	<p><笛による合図> 安全＝短音2声、繰り返し 停止＝長笛 <発声による合図> 安全＝オーライ、オーライ 停止＝ストップ</p>



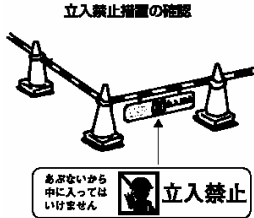

作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすく)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)
後 始 末 作 業	1. 清掃をする	① 刈草以外のゴミは分別し ② 足回り、刃についた草や泥を除去し							作業員	
	2. 機械を積み込む	① 平坦な場所で ② 周囲を確認して ③ 道板を使って、ゆっくりと	・機械を積み込みしている最中に、バランスを崩して落下、機械の下敷きになる	○	×	○×	3	・機械を積み込むときは、道板を使用し、道板に乗り上げる前から正確に方向を定めて、まっすぐに登る	作業員	
	3. 道具・立入禁止のコーンを片付ける	① 整理整頓して ② 元の場所に							作業員	
	4. 修了報告をする	① 元請係員に							職長	

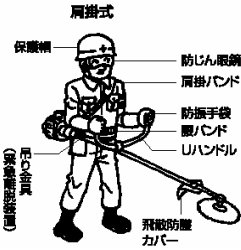


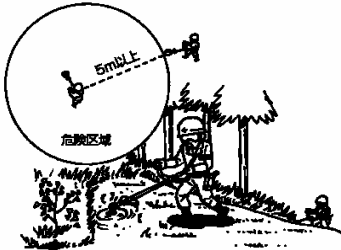
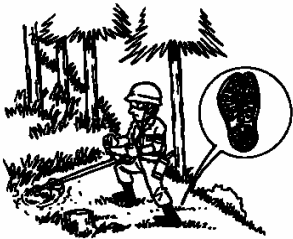

草刈り作業手順書及び危険性・有害性等の調査（造園工事業）

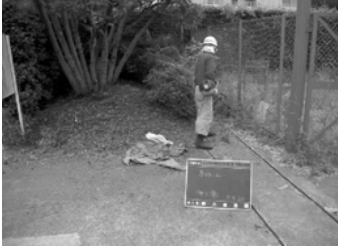




作業名	刈払機による草刈り作業	保護具	安全帽、手袋、安全靴等、安全帯、防護メガネ、防振手袋
使用機械	草刈り機（刈払機）	免許・資格	刈払機取扱作業者
使用工具	脚立、はしご、道板、親綱（ロリップ）、カラーコーン、シート、安全ロープ	作業人員	3人
使用材料	荒縄、ベニヤ板	その他	



作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすく)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)																						
準備作業	1. 作業場所を点検する	① 法面の勾配を ② 危険区域を							職長	・勾配が急で、高さがある場合は、中間に単管等で足掛けを設け、滑り止めをする																						
	2. 作業方法を検討する	① 機械器具等の選定を ② 使用する刃の選定を ③ 作業手順を	 KYミーティング						職長	・使用する機械は、作業場所の勾配、草の状態、作業場所等を検討し、使用する機械を背負式、肩掛け式、手持ち式等から選択する。また、使用する刃も、草の状況によって検討する																						
	3. 安全ミーティングを実施する	① 当日の作業手順書で ② KYミーティングを実践し	・作業員同士が接近しすぎ、刈払作業中、機械に接触する	○	×	○×	3	・当日の作業開始前のKYミーティングで作業員同士は5m以上の間隔を取って作業するように指示する	職長	<p style="text-align: center;">振動業務と作業時間</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>振動工具の種類</th> <th>振動業務</th> <th>1日あたりの作業時間</th> <th>1連続作業時間</th> <th>休止時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ピストン内蔵工具</td> <td>・さく岩機 ・コンクリートブレイカー ・電動ハンマー</td> <td>2時間以内</td> <td>10分</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <td>エンジン内蔵工具</td> <td>・チェーンソー ・エンジン刈払機 (チェーンソーを除く)</td> <td>2時間以内</td> <td>30分</td> <td>5分</td> </tr> <tr> <td>振動体内蔵工具</td> <td>・コンクリートバイブレーター ・エンジンランマー</td> <td rowspan="2">できるだけ短時間</td> <td rowspan="2">30分</td> <td rowspan="2">5分</td> </tr> <tr> <td>回転工具</td> <td>・ハンドグラインダー ・振動ドリル</td> </tr> </tbody> </table>	振動工具の種類	振動業務	1日あたりの作業時間	1連続作業時間	休止時間	ピストン内蔵工具	・さく岩機 ・コンクリートブレイカー ・電動ハンマー	2時間以内	10分	5分	エンジン内蔵工具	・チェーンソー ・エンジン刈払機 (チェーンソーを除く)	2時間以内	30分	5分	振動体内蔵工具	・コンクリートバイブレーター ・エンジンランマー	できるだけ短時間	30分	5分	回転工具	・ハンドグラインダー ・振動ドリル
	振動工具の種類	振動業務	1日あたりの作業時間	1連続作業時間	休止時間																											
ピストン内蔵工具	・さく岩機 ・コンクリートブレイカー ・電動ハンマー	2時間以内	10分	5分																												
エンジン内蔵工具	・チェーンソー ・エンジン刈払機 (チェーンソーを除く)	2時間以内	30分	5分																												
振動体内蔵工具	・コンクリートバイブレーター ・エンジンランマー	できるだけ短時間	30分	5分																												
回転工具	・ハンドグラインダー ・振動ドリル																															
4. 新規入場者教育を実施する	① ミーティング終了後に ② 作業手順と危険箇所を周知し ③ 実施記録を作成し							職長																								

作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすく)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)
準備作業	5. 服装・保護具を点検する	① 長袖、長ズボンを ② 防護メガネ、安全靴(タビ)を ③ 保護帽・防振手袋等の使用を	・半袖で作業中、草、トゲ等が腕に刺さりケガをする	×	○	×○	3	・草刈作業は、長袖、長ズボンを着用し、防振手袋等保護具を使用して作業する	作業員	<p>・(注)草刈作業では、腕先等の負傷防止の為に長袖が望ましい。草刈機を使用する際は、防振手袋を使用する</p> 
	6. 用具を点検する	① 傾斜地での親綱(ロリップ)の設置を	・草刈機を大きく振ったとき、親綱を草刈機で切り転落する	○	×	○×	3	・傾斜地での作業は、安全帯を使用し、前方を小さめに刈払いをする	作業員	 <p>カッター</p>
	7. 機械を点検する	① 草刈り機を ② 機械の配置状況を ③ 燃料を	・機械整備不良が原因の誤作動によりケガをする Uハンドル スロットルレバー		○	×	○×	3	・作業開始前に使用する刈払機の点検を実施する	作業員

作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすく)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)
準備作業	8. 安全設備を設置する	① 第三者の立入禁止措置を ② カラーコーン、安全柵で ③ コンパネでガラス等の養生し	・刈払い中、刃で小石を飛ばし、車両 又は近隣のガラスを破損する	×	△	×△	4	・小石の飛散防止のため近隣の住宅等には コンパネにより、飛散防止をする	職長 作業員	・近隣に住宅等がある場合は、小石等の飛散による ガラス等の破損防止をする 
	9. 作業区域を明示する	① 誘導、監視員を配置し ② 立入禁止措置コーン、安全ロープ等で						 作業状況	職長 作業員	
	10. 支障物を点検・撤去する	① 石、空き缶、ガレキ等を ② バルブ、配管、ケーブル等を	・投げ捨てられた空き缶に、刃が刺さり 飛散し、作業員に当たる					 障害物除去	・支障物は作業開始前に点検し作業の障害 となるものは除去してから作業する	作業員

作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすく)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)
本作業	1. 機械の始動前点検をする 	① 燃料を(混合比等) ② オイルを ③ 使用する刃の着装状況を	・炎天下に仮置きした燃料が気化し、爆発し、作業員がケガをする (第三者に持ち去られる) ・始業前点検不足で、ボルトがゆるんで刃が外れる	○ ○	× ×	○× ○×	3 3	・燃料は日陰に保管し、混合は職長の立合いのもとで実施する	作業員	 肩掛け2
	2. 機械を始動する	① 周囲及び作業半径内の人払いをして ② 作業員同士は5m以上の間隔を取り	・周囲の確認不足で振り向きざまに相手に刃が当たってしまう	○	×	○×	3	・作業開始前に周囲の人払いをし、作業員同士との間隔は5m以上を取って作業する  相番者との間隔	作業員	 空き缶・小石は事前に拾う
	3. 草を刈る 	① ハチ、マムシ等を追い払い ② 刃の回転方向により小石等が飛ぶことを頭に入れて ③ 刃が切れなくなったらこまめに取替えて	・ハチの巣のついた草を刈りハチに刺される ・木、石等に刃が当り、反動で胴を傷める	△ △	△ △	△△ △△	3 3	・ハチ・マムシ等は、作業開始前に追い払い作業を開始する ・作業中、小石が飛散することを予測して安全な方向に払う	作業員	 作業状況

作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすく)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)
本作業	4. 機械を停止する	① エンジンを切り ② 機械の停止を確認して	・エンジンを切っても刃は回っている ので思わぬケガをする ・草の下にあった刃に気付かず足を 切る	○ ○	× △	○× ○△	3 2	・機械を停止する場合は、エンジンを切り、刃 が停止したことを確認する 	作業員	 カッター
	5. 刈りカスを集積する	① 箇所ごとにまとめ ② 荒縄で飛散防止をし	・仮置きした仮草が、飛散して周囲に 散乱する	○	○	○○	1	・刈りカスの飛散を防止するため、荒縄で 荷締めをする	作業員	
	6. 刈りカスを搬出する	① 集積後速やかに								 <笛による合図> 安全＝短音2声、繰り返し 停止＝長笛 <発声による合図> 安全＝オーライ、オーライ 停止＝ストップ

作業区分	作業の手順 (主なステップ)	作業の急所 (安全・正否・やりやすく)	危険性・有害性等	可能性	重大性	評価	危険度	危険性・有害性等の除去・低減対策	誰が	備考(図)
後 始	1. 清掃・片付けする	① 清掃はきれいに ② 機械工具をチェックし ③ 特に刃、燃料を	・作業終了後に現場に刃が置いてあり 子供が投げて遊んでケガをする ・作業終了時の資格等の点検不足で、 燃料を置き忘れ火災となる	○ ○	× ○	○× ○○	3 1	・作業終了時は、機械工具、刃、燃料等の置き忘れがないか作業場所を点検する	作業員 職長	 <p>飛散防止1</p>
末 作 業	2. 作業終了時確認する	① 当日の作業場所を							職長	